

だい き
第 4 期

しがいこくじんしみんいんかい
さいたま市外国人市民委員会

ていげんしょ
提言書

こくせき ちが かが かか しみん あんしん す つづ みりよく まち
国籍の違いに関わらず、すべての市民が安心して、住み続けたいくなる魅力ある街づ
くりに向けて

わたし だい き し がいこくじんしみんいんかい こんご ぞうか かんが
私たち、第4期さいたま市外国人市民委員会は、今後さらに増加すると考
えられる外国人市民にとって「安心して住み続けたいと思えるまち」、「魅力ある
まち」を目指するため、次のように提言します。

1 がいこくじん こそだ こ がっこうせいかつ ひつよう しえん
外国人の子育て・子どもの学校生活において必要な支援について

がいこくじんしみん し こそだ ほいくえん ようちえん がっこう
外国人市民がさいたま市で子育てするときや、保育園、幼稚園、子どもの学校
せいかつ
生活にあたっては、次のような課題が挙げられます。

- こそだ がいこくじん こうりゅう ば ふそく
・子育てをしている外国人の交流の場の不足
- にほんご しえん
・日本語の支援
- がっこう はいふ しよるい たげんごか
・学校から配布される書類の多言語化
- がいこくじん こ かんきょうづく
・外国人の子どもをサポートしてくれる環境作り
- がいこくじんほごしゃ さんか
・外国人保護者のPTAへの参加
- いじめ さべつ たいおう など
・いじめ、差別への対応 など

これらの課題に対して、必要な支援や、適切な情報提供をして、がいこくじんしみん
あんしん く めざ
が安心して暮らせるまちづくりを目指してください。

こそだ かにい しえん
(1) 子育て家庭への支援

がいこくじんかにい こそだ おな きょうぐう がいこくじん せつきよくてき
外国人家庭のための子育てサークルや、同じ境遇の外国人が積極的に
こうりゅう
交流できるオンライン、オフラインの場を作ってください。また、がいこくじん
にほんじん ほごしゃ こうりゅう ば おお つく
日本人の保護者が交流できる場を多く作ってください。

がいこくじん こそだ なか ひつよう じょうほう え
外国人が子育てをする中で、必要な情報がわかりやすく得られるように
がいこくじんむ いくじそうだんかい じっし
外国人向けの育児相談会なども実施してください。

(2) 日本語支援

がいこくじん こ ほうかご ほしゅうじゅぎょう おこな にほんご しえん おこな
外国人の子どもへ放課後に補習授業を行うなど、日本語の支援を行って
ください。また、がいこくじん ほごしゃ たい へいじつ やかん どにち じかん
外国人の保護者に対しても、平日の夜間、土日などの時間に
こうみんかん し しせつ かつよう にほんごきょうしつ かいこう ほか
公民館や市の施設を活用した日本語教室を開校してください。その他にもオ
ンラインでの日本語教室をレベル別に開催してください。
にほんご まな さい にほん せいかつ ひつよう しゅうかん にほんぶんか
日本語を学ぶ際に、日本での生活に必要なルールや習慣、日本文化につい
てもあわ まな せいかわ にほん せいかわ ふあんかいしょう
併せて学ぶことができれば、日本での生活における不安解消につながり
ます。

(3) 学校からの情報提供の多言語化について

がっこう はいふ しよるい たげんご ていきょう りそう ぼうだい
学校から配布される書類を多言語で提供してもらうのが理想ですが、膨大
ほんやくさぎょう ひつよう じょうほうていきょう
な翻訳作業が必要となるので、メールやホームページで情報提供してくだ
さい。ほんやく サイトやアプリをかつよう せいかわ ひつよう げんご ほんやく
活用することで、必要な言語に翻訳することができます。

(4) サポート役のコーディネーターの配置

がいこくじん こ がっこうせいかわ にほん せいかわ な こま こと
外国人の子どもが学校生活や日本での生活に慣れるため、また、困った事を
そうだん
相談できるよう、カウンセラーや、サポート役の配置をしてください。各学校
はいち むずか しないかくしょ ちいきべつ はいち
に配置することは難しいかもしれませんが、市内各所への地域別の配置や、
がっこうほうもん でんわ たいおう しえん ねが
学校訪問、電話での対応などの支援をお願いします。

(5) PTAの参加への支援

日本語が理解できない外国人にとって、PTAの役割や活動内容を理解するのは、大変なので、外国人が参加しやすくなるようにマニュアルや、多言語での説明資料を作成してください。

(6) いじめ、差別への対応

異なる人種や価値観、習慣などを認め合えるよう、外国人講師による国際交流や国際理解の授業を行ってください。また、子どもが孤立しない工夫や、心が傷ついてしまった子へのケアを行ってください。

2 外国人がさいたま市を訪れたいと思ってもらえるための観光の取組み

外国人が「さいたま市に来たい、来てよかった」と思ってもらえるまちづくりを進め、活気にあふれるまちを目指すため、次のように提言します。

(1) 文化体験の紹介・地域資源の活用

外国の方が日本の文化を体験できる、紹介ウェブサイトやアプリを作成するとともに、パンフレットを作成し、観光案内所に配置してプロモーションしてください。

また、ヨーロッパ野菜を使った朝市その他、氷川参道や遊歩道、高架下などを利用したマーケットなどを、駅の近くで開催するとより多くの観光客が楽しめると思います。

(2) ホームページ、SNS について

- (i) さいたま観光国際協会かんこうこくさいきょうかいが作成さくせいしているホームページについて、多言語たげんごでの観光の情報発信かんこうじょうほうはっしんをしており、内容も充実ないようじゅうじつして良いと思ひますが、施設しせつやツアーの予約よやくまで出来るとより良いサイトになると思ひます。
- (ii) SNS を用いた交流もちこうりゅうや、情報発信じょうほうはっしんを多言語たげんごで積極的せっきよくてきに行つてください。
- (iii) YouTube を活用かつようし、さいたま市の観光地しかんこうちや、公園こうえん、お店みせなどの動画どうがを積極的せっきよくてきに発信はっしんしてください。

(3) コンベンション、イベントについて

さいたま市しが持つもっている資源しげんや立地りっちを生かし、さいたまスーパーアリーナ、埼玉スタジアム2002などの施設しせつと連携れんけいして、国際的こくさいてきなコンベンションやイベントの誘致ゆうち・開催かいさいを行つてください。

コンベンションの際さいに、大宮おおみやの盆栽ぼんさい、岩槻いわつきの人形にんぎょう、浦和うらわのうなぎ、漫画まんがぶんかなどを用いたイベントおこなを行い、情報発信じょうほうはっしんをすることで、さいたま市しの魅力みりよくを多くおほの人に伝えるひとことができると思ひます。